

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-120	13-103	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Low quality of life and depressive symptoms are connected with an unhealthy lifestyle. 低いQOLとうつ症状は不健康なライフスタイルと関連する		
<b>執筆者</b>		
Savolainen J, Kautiainen H, Miettola J, Niskanen L, Mäntyselkä P		
<b>掲載誌</b>		
Scand J Public Health. 2014 Mar;42(2):163-70. doi: 10.1177/1403494813504837.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
健康関連 QOL、population based study、フィンランド		24048729
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b>		
Lapinlahti 2005 studyは、フィンランド東部のLapinlahti(ラピンラフティ)の住民を対象にライフスタイルとQOL、循環器疾患のリスク要因を明らかにするために行われた。本研究の目的は、地域住民においてライフスタイルと健康関連QOLの関係を明らかにすることである。		
<b>方法：</b>		
376名(男性184名)の地域住民コホートの追跡調査データ(2005年から2010年)を用いた。リサーチナースが身長、体重、腹囲、血圧を測定した。健康関連QOLの評価には15D質問票(自記式の包括的な健康関連QOL質問票)を用いた。自己申告のうつ症状はBeck Depression Inventory(BDI)-21を用いて評価した。栄養、運動、喫煙、飲酒などのライフスタイルの評価には構造化質問紙を用いた。ライフスタイルの各項目は、それぞれガイドライン等に即して、-1、0、1の3段階に評価した。この評価値を足し合わせて、対象者を健康群、普通群、不健康群の3群に分けた。性、年齢を調整し、3群間の比較を行った。		
<b>結果：</b>		
15Dスコア(健康関連QOL)とライフスタイル(3群)の間に正の相関を認めた(p=0.0048)。うつ症状は健康的なライフスタイルの方が頻度が低かった(p=0.038)		
<b>結論：</b>		
ライフスタイルの改善が求められる人々は、健康関連 QOL が低く、精神状態も良くないことを臨床現場や保健指導において考慮に入れるべきである。		